

2021年7月29日

逗子市

新型コロナウイルスワクチンの誤接種について

令和3年7月28日（水）、逗子市の新型コロナウイルスワクチン接種（ファイザー社製）の集団接種会場で、注射器にワクチンを充填していない空の状態ですら1人に接種する誤りがありました。

1. 経緯

7月28日（水）午前、市民交流センターで、接種を担当する看護師が、注射器を押した際の感覚がいつもと違っていることに気づき、使用済みのバイアルを確認したところ、残量が多いものが1バイアルだけあったため、ワクチンが充填されていない注射器で接種したことが分かりました。

接種を受けた方には、その場で謝罪し、後日改めて接種を受けていただくことになりました。また、健康状態については、体調の変化は起きておらず、医師の所見でも、筋肉注射であるため微量の空気を接種しても健康的には問題ないとのことでした。

2. 原因

注射器にワクチンを充填する場合には、まず、注射器に空気を0.3ミリリットル入れ、それをバイアルに刺し、バイアル内で一度押し出して空気を抜きます。そのまま針先をワクチンの中に入れると、ワクチンが吸い上がるので、残りを自分で引き上げます。

当日は、注射器をバイアルに刺した時に注意がそれてしまったため、すでにワクチンを吸い上げたものと勘違いしてしまいました。

3. 再発防止策

手順を再徹底するとともに、改めて薬剤師の研修を行います。

本件に関するお問い合わせ先：

電話：046-873-1111

福祉部国保健康課 廣末・稲井 内 231